

2010年度

科目名	古文書学実習Ⅱ				
担当教員	山中 浩之				
配当	文財2			コード	52470
開期	後期	講時	金曜日2限	単位数	1
授業テーマ	古文書の読解と整理				
目的と概要	<p>歴史は1回しか起こらない。ほとんどは人々の記憶の中か、忘却のかなたへと消えていく。残される史料はごくわずかである。だから史料はいかなるものも貴重である。しかし史料はそのままでは紙片でしかない。それを1片1片読み解き、それらが相互につながりを持ち出したとき、紙片は意味ある史料として立ち現れてくる。そうして人々がそのとき、その場でどう生きようとしていたかが見えてくるとき、歴史が古文書を通して浮上してきたといえるだろう。</p> <p>古文書の読解と、古文書を扱い整理する技法の修得をめざす。 なお古文書学実習の受講者は古文書学をすでに履修した者を原則とする。</p>				
成績評価法	平常点(50%)、授業時のレポート(50%)を加えて総合的に評価				
テキスト	古文書コピーを配布。くずし字解読辞典/ 東京堂				
参考書	『概説古文書学 近世篇』/ 吉川弘文館 『史料の整理と管理』 / 岩波書店 『古文書調査ハンドブック』/ 吉川弘文館				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
(本科目は古文書学および古文書学実習Ⅰ履修者であることを原則とする)					
Ⅱ. 古文書の読解と整理実習—古文書を通して社会を読む—					
1 検地帳をとおして土地と階層をみる					
2 宗門人別帳を通して家族構造を見る					
3 免状と皆済目録をとおして年貢の変化を見る					
4 村明細帳をとおして村の全体を知る					
5 村の騒動や一揆の記録を通して社会の問題点と対立をみる。					
Ⅲ. 古文書整理の実習 (カードあるいは目録用紙に整理し、パソコン入力を行う)					
1 観心寺文書					
2 錦織田中家文書					
3 富田林仲村家文書					
4 八尾田中家文書					
5 高貴寺文書					
6 羽曳野松村家文書					
7 岩崎家文書					
8 北大友村三島家文書					
9 延命寺文書					
10 中野家文書					
☆なお冬休み中、古文書調査・整理をおこなう。大学博物館内あるいは羽曳野市内の旧庄屋家を予定					